

平成22年度「水・土壌環境保全功労者表彰」受賞者一覧(敬称略)

推薦者	団体	個人	主な功績
宮城県	はやしぎわちくふるさとみずとつちほぜんたい 林際地区ふるさと水と土保全隊		南三陸のまちの上流を流れる、たら葉川流域を中心として河川清掃活動や、カキ殻を利用した水質環境保全を継続して行っている。 また、ホテル再生のための調査研究や、周辺地域への景観作物の植栽、水車小屋の設置及び四阿の建設など行い、地域の環境保全に努めている。 水車小屋周辺で行う秋の収穫祭はコミュニティ活動を通して環境整備に対する意識の醸成に役立っている。
福島県	あいづわかまつしりつみなとしょうがっこう 会津若松市立湊小学校		総合的な学習の時間を活用し、学校の近くを流れる原川と猪苗代湖の水質調査を平成11年度より継続して行っている。 また、学校林において除伐活動を通し、水と森林を関連付けた水環境保全活動を実施している。
茨城県		すか だいちろう 須賀田一郎	昭和57年に(社)茨城県浄化槽センター(現茨城県水質保全協会)の会員となり、積極的に浄化槽の普及啓発に努めている。 平成8年からは潮来支部の役員となり、豊富な知識と経験を生かし、浄化槽の適正な施工を推進するとともに地域住民に生活排水処理の重要性を訴える等、市民の快適な生活及び水環境保全に尽力している。 また、平成13年から(社)茨城県水質保全協会の理事として、協会の円滑な運営や発展に寄与している。 一方、事業推進委員長としてまた、潮来支部長として協会の行事や各種イベント等に積極的に参加して活動している。
茨城県	つちうらし かてい はいすいじょうかすいしんきょうぎかい 土浦市家庭排水浄化推進協議会		霞ヶ浦の水質の現状について市民の理解と認識を深め、家庭排水の処理を推進することで水質浄化を図り、市民の健康を守り生活の向上に寄与することを目的とした活動を展開している。 ○家庭排水対策 ・食用廃油の回収は、設立初期からの長期継続事業であり、市民にも定着している。廃油は汚濁負荷が高いことに加え、身近で明確な取組であることから、水質浄化及び市民の意識の向上に寄与している。【21年度実績】回収量2,891リットル ○水質浄化啓発事業 ・市民フェスティバル、産業祭等で街頭キャンペーンを実施し、水質浄化の必要性や具体的な取組内容等を周知し、市民レベルの水質浄化実践の推進に寄与している。 ○水環境学習への共催・支援 ・自治体が開催する、親子での水環境学習、中学生水環境研修会等への共催・支援を行うことにより、次世代を担う小中学生への水環境意識の啓発・育成を推進。
群馬県	きりゆうすいげんかんしん 桐生市水源監視員		昭和61年に林野庁から「日本森林浴の森100選」に選定され、さらに平成7年には「水源の森100選」に選定されている桐生市の水道水源でもある桐生川上流部において、平成12年から水源環境の保全のため毎年20回の水源監視活動を実施し、レジャー客等へのゴミ持ち帰りの啓発やゴミの収集、また、水道局が行っている浄水場開放事業に協賛し、来場者に対して浄水処理の説明や国登録有形文化財の説明等を行っている。 さらには河川水の水質調査等を行い、桐生川の清流を次世代に継承するため、活発な活動を続けている。
埼玉県	ふきあげもとあらかわをきれいにすかい 吹上元荒川をきれいにすかい		2か月に一度の元荒川河川敷及び河川内の清掃活動と、年数回の水生生物調査を定期的実施することにより、地域の水辺環境を良好に保ち、親しめる水辺環境の保全に貢献している。 平成20年11月、近隣の小学校と協力して河川敷に芝桜を植栽し、以降、年間を通して芝桜の管理を実施している。このことにより、地域の子どもの水環境保全活動の模範となっている。
埼玉県	やなせがわのさいじょうりゅうをきれいにすかい 柳瀬川の最上流をきれいにすかい		・継続した河川清掃に加え、沿川の植栽を行うなど、総合的な河川環境の整備に大きく貢献している。 ・流域家庭を戸別に訪問するなど、生活排水対策の啓発活動に尽力している。 ・地元中学校での講演や、生徒と一緒に清掃活動を行うなど、次代を担う子供たちへ河川環境保全に対する動機付けを行っている。 ・行政と地域・団体との協働事業に積極的に参加し、地域との橋渡しに大きく貢献している。

平成22年度「水・土壌環境保全功労者表彰」受賞者一覧(敬称略)

推薦者	団体	個人	主な功績
千葉県	にししばしかんきょうをまもるかい 西馬橋環境を守る会		新坂川は市内を常磐線と並行して流れており、新坂川は市民の生活環境と係わりの深い川となっている。 本会は、発足から16年を経過し、新坂川の清掃や、新坂川横のJR馬橋駅前の花壇に年4回植栽をし、草取りや散水を実施しており、河川周辺の美化環境保護に力を注いでいる。 また、市の開催する河川関係イベントなどにも積極的に参加しており、新坂川の環境啓発に寄与している。
千葉県	おおほりがわのみずべをきれいにするかい 大堀川の水辺をきれいにする会		平成9年3月から現在にいたる13年間にわたり、柏市の中部を流れる大堀川にすてられた自転車・バイク・発泡スチロールのゴミなどを定期的に清掃している。 また、現在は堤防に花の種をまき花壇を作るなど川への愛着心を育む活動により、地域の会員以外の住民も清掃活動に参加し、そして企業へと活動の輪が広がっている。 さらに、小学校の総合学習支援や高校生へボランティア体験を講演することで川や自然を大切にする啓発を果たしており、大堀川を中心に人と人、人と自然が親しみ合える地域づくりを目指して活動している。
富山県	こうしろくべえほうさんかい 孝子六兵衛奉賛会		江戸時代、働き者の石瀬屋六兵衛がこの地を掘ったところ、大変良質な水が湧き出たとの伝説が残る「影無し井戸」。 昭和61年に「とやまの名水」に選定され、どんな日照りの夏にも涸れないとされるこの水を守るため、当該奉賛会が以下の活動を継続している。 ・伝説に関する看板の設置を行うなど、井戸の周辺を小公園として整備し、毎日の水汲み場の点検、月数回程度の公園内の清掃、維持管理を実施している。 ・毎年、井戸やその伝説にちなんだお祭り(孝子祭)を開催するなど、水環境の大切さを後世に伝える活動を実施している。 ・「とやまの名水衛生管理マニュアル」に基づき、水質検査を定期的実施し、平成14年には紫外線滅菌機を導入し、衛生管理に努めている。
富山県	とちづがわをあいするかい 栃津川を愛する会		当該団体は、洪水で消失した栃津川の桜堤の復元を目的に設立された「栃津川桜つつみ公園整備実行委員会」の実務組織として、以下の活動を積極的に展開し、地域の水環境の保全に貢献している。 ・毎月、栃津川の堤防の清掃、草刈を実施し、桜並木を含めて地域のうるおいある水環境としての整備、維持管理を進めている。 ・毎年、地域の小学生とともにヤマメの稚魚の放流会を開催し、水生生物や水環境の保全に関する環境教育を推進している。 ・栃津川の堤防に石のベンチを設置するなど、多くの人が集まる地域の憩いの場となるよう取組みを進めている。
福井県	さくらます・れすとれーしょん サクラマス・レストレーション		17年間に渡り、40万尾のサクラマス稚魚の放流や産卵川床の整備を行い、九頭竜川からサクラマスがいなくなることはないよう取り組んできた。 また、子ども達への環境学習や河川清掃などにも長年取り組んできた。
福井県	さばえけいたいのかい 鯖江継体の会		本会は、平成18年に発足し、平成16年の福井豪雨により被害を受けた桃源清水の復興に尽力し、その結果、桃源清水と三場坂清水が、平成20年2月に福井県の「ふくいのおいしい水」に認定され、これらの地域資源と古代ロマンを融合させた様々なイベントを自ら開催するとともに、清水を訪れる人にアンケート調査を行い、意見・要望を活動に活かしている。 また、市内外から訪れる人たちに、地域の語り部として、地域の歴史文化や水環境の保全・継承に取り組むなど、地域活性化と水環境の保全に多大な貢献をしている。
長野県	いちばんしみずのかい 一番清水の会		阿智村清内路屈指の名水として、広く県内外に知られる「一番清水」周辺の環境整備を目的に発足した。 年数回の大規模環境整備事業(草刈り、植樹、ゴミ拾い、側溝の泥だし、支障木伐採)、毎月2回、周辺の環境整備を行うとともに、水質検査も定期的に行っている。 また、植樹、花壇整備も行っている。

平成22年度「水・土壌環境保全功労者表彰」受賞者一覧(敬称略)

推薦者	団体	個人	主な功績
岐阜県	かにしかんきょうふえすたじっこういいんかい 可児市環境フェスタ実行委員会		可児市で環境保全活動に取り組んでいる市民団体や事業者、学校に呼びかけて実行委員会を組織し、テーマを設定し、市民団体や事業所、小中高校の環境への取組や成果の発表、環境講演会、河川清掃(H22.2.20の開催では、1,672人が参加)で発生したゴミの展示、おもちゃ病院の開設、大気環境木の無料配布等、多種多彩なイベントを催し、市民に環境意識の向上に大きく貢献している。また、実行委員会として市民、事業者、行政の3者が協力しあっており、環境フェスタ(H22.2.27、28の開催では、1,618人が来場)は協同して環境保全について考える場として市民に定着している。毎年2月に実施する環境フェスタのプレイベントとして、市内の事業者、小中高校生、市民団体などにより5カ所の拠点で可児川の河川敷の清掃、ゴミの実態調査を行い、翌週の環境フェスタにおいて“ごみ展示”を実施することで、地域全体で水環境保全に努めている。
静岡県	まきのはらみずべのがっこう まきのはら水辺の楽校		主に市内の子供達を対象にした環境学習の一環として、こどもエコクラブに登録し、河川・海岸、里山における生物調査を実施。里山では、落ち葉の作用や、稲作作り(田植えから脱穀作業まで)を行い、また河川や海岸では、清掃活動や釣りを通じた、食に関する学習を実施。里山から海までに至る環境活動を実施することで、山の環境が海の生物環境に密接に関わっていることを学習。里山や河川海岸における環境学習を通じて、これらの環境学習を実施することができる人材の育成も活動と併せて実施。
愛知県	こせとしょうがっこう かわのちょうさたい 古瀬戸小学校 川の調査隊		平成13年度から、地域の川に「メダカのすめる川を取り戻す」ことを目標に、河川清掃や水質調査を定期的に行うとともに、地元特産のセラミックを使い浄化装置による浄化実験を試みるなどの活動を通じて、地域における水環境保全の気運を醸成し、地域に向けて生活排水対策の啓発に努めており、地域の水環境保全に多大な貢献をしている。
滋賀県	びわこのみずとちいきのかんきょうをまもるかい びわ湖の水と地域の環境を守る会		平成18年から、広く一般人を対象にあやめ浜まつりを行い、琵琶湖とその恵み(シジミ)を認識させ、また、環境学習として幼児・小学生を対象に琵琶湖の恵みを伝え残すことや水を汚さない必要性を訴えている。また、平成19年から、琵琶湖に流入する野洲市内の約80%の流域面積を持つ家棟川の清掃活動を定期的に行い、積極的に河川浄化に取り組んでいる。さらに、住民参加によるヨシ苗を植えるヨシ群落再生事業を行い、住民へヨシの役割を再認識させ、琵琶湖の水質改善と魚類の産卵・成育場の確保に寄与するなど、水環境保全の推進に多大な貢献を果たしている。
京都府	きょうとさんぎょうだいがくふぞくこうとうがっこうせいぶつぶ 京都産業大学附属高等学校生物部		ウズムシ類(プラナリア類)はそのすさまじい再生能力で、最近では幹細胞やiPS細胞、再生医療との関連でも注目されている。しかし、その実際の野外での分布や生態、繁殖様式など基礎的な実態や外来種の動向は意外と知られていなかった。こうした中、鴨川・高野川・桂川・淀川で、アメリカナミウズムシの発見を皮切りに、本校生物部は外来種の生息分布を次々に確認した。とりわけ、アメリカツノウズムシについて、本学生物部は、淀川水系における分布状況を明らかにし、在来種他に、帰化種の分布・生態・染色体について調査・研究を行っている。そのような取組のなかで、水質の状況調査を月に一度行っており、それらを通して生徒が水への関心を深める等、環境保全・普及活動に寄与している。
兵庫県	みずべにまなぶるじえくと 水辺に学ぶプロジェクト		県、市、町、団体等が開催する、環境イベント・フォーラム・体験学習に対し、積極的に協力し、講演・展示・指導などを行っている。加古川市の別府川でイベントを実施し、地域住民を先導して川の中の生き物調査とごみ拾いに取り組んでいる。毎年1回、播磨町の喜瀬川において、小学生・保護者を対象に、水辺遊びの楽しさと、魅力の発信に取り組んでいる。
和歌山県		こむくこういち 小椋孝一	昭和56年より、浄化槽の適正管理を通じ、貴志川上流部の水質保全活動を町行政と協力し積極的に展開してきた。また、平成元年からは地域住民とともに、また、平成15年からは「がたろう会」の会員として、貴志川下流部においてもホテルが帰ってくる川を目標に、「海の日」には住民と協力し水辺の一斉清掃などを行い、現在ではホテルが徐々に増えつつあるなど、水環境保全に多大な貢献をしている。

平成22年度「水・土壌環境保全功労者表彰」受賞者一覧(敬称略)

推薦者	団体	個人	主な功績
鳥取県	とくていひえいりかつどうほうじん 特定非営利活動法人 さきもりねっとわーく 未来守りネットワーク		当団体は、平成17年4月からアマモ播種シートによるアマモ場の造成活動を展開し、中海全域にかつて繁茂していたアマモの藻場復活を通して、低下している中海の自然浄化機能の回復を図り水質浄化に努めるとともに、海のゆりかごである漁場としての再生に取り組んでいる。 また、当該活動の一環としてアマモに関する勉強会やアマモの種子採取イベント等を開催し、子どもや地域住民の参加を図り水環境保全の啓発に貢献している。 平成18年からは地元漁業者と協力して、中海の海藻を採取し、それをたい肥化して米作りに活用することで、中海に貯まった窒素及びリン等の栄養塩の系外排出を図っており、地域の水環境保全活動においてもモデル的な役割をはたしている。 さらに、絶滅危惧種に指定されている淡水魚アカヒレタビラの調査・保護活動を行うとともに、平成21年11月には「第2回全国アマモサミット」を中心となって開催する等、その活動は精力的である。
岡山県		ほりとしなり 堀利也	平成8年度より開始された「身近な川の水質調査事業」(県事業)において講師として高梁市及び周辺の小学生を対象に水生生物の調査や水質検査等を行うことで、清流保全意識の高揚を図っている。 また、河川清掃とよし刈りを30年来実施している。
広島県	おのみちしりつくりはらしょうがっこう 尾道市立栗原小学校		長年にわたり地元の川である門田川の水生生物調査を行うことにより、水環境の実態等の把握に努めている。 環境標語の作成や環境パンフレットも作成し、自分達の調べたことを発表する等、地域と共に水環境の保全に取り組んでいる。
山口県		たけすえよしひろ 武居義弘	昭和44年10月から平成18年3月の33年6ヶ月の行政業務のうち、通算12年間にわたり水質総量削減計画の策定等、水環境保全業務に従事した。 また、産官学民が協働・連携して自然再生に取り組む「榎野川河口域・干潟自然再生全体構想」の策定等に中心的な役割として携わるなど、地域における水環境の保全に貢献している。
徳島県	かいようちょうりつしきいしょうがっこう 海陽町立穴喰小学校		校区には、色とりどりの熱帯魚やサンゴが住む竹ヶ島海中公園があり、エダミドリイシサンゴの北限群生地として、昭和47年に環境庁から海中公園に指定された。 しかし、近年防波堤による潮流の変化や生活排水や土砂の流入による海水の濁りなど、サンゴにとって生息しにくい海の環境へと変化によりエダミドリイシサンゴが激減している。 そこで、本校の6年生は平成16年より、このサンゴを蘇らせることをひとつの指標として環境学習に取り組んできた。 国・県・大学・町・地元漁業組合の協力により、アマモやサンゴの移植や水質検査など、なかなか学校だけでは取り組めない大がかりな学習も体験することができている。 子どもたちは、この「ふるさとの海を守ろう」という学習の成果を県教育委員会主催の学校版環境ISO指定の会場で紹介したり、毎年2月の学習発表会で保護者や地域住民に披露したりしている。 平成20年2月には「とくしま環境県民会議」から表彰を受け、21年8月には山口市で行われた日本連合教育会全国大会の環境部会で、「継続した活動」「地域に支えられた活動」という視点で発表している。
香川県	たかまつしりつこくぶんじちゅうがっこう 高松市立国分寺中学校		平成10年から毎年、身近な川である本津川の水生生物調査を行い、水環境保全活動に理解を深め活動している。 また、ボランティア活動として、町内クリーン活動の参加や生徒会が中心となり「国分寺まつり」の翌日に自主的に清掃活動を行うなど積極的に環境活動を行っている。

平成22年度「水・土壌環境保全功労者表彰」受賞者一覧(敬称略)

推薦者	団体	個人	主な功績
福岡県	やめがくいんこうとうがっこうせいぶつが 八女学院高等学校生物部		地域の一級水系矢部川の支流である星野川の水生昆虫を生物部が主体となり24年間にわたって調査している。 水質調査の実施に当たっては、生物部が水辺環境保全の重要性から広く環境問題を考える契機となるよう全校生徒に呼びかけを行っており、近年参加者が増加してきている。 生徒の半数以上は川で遊んだ記憶がないため、実体験を通じて意識が芽生えることが多く、調査に参加した生徒は学校主催の清掃ボランティア活動等へも積極的に参加している。 また、部の活動主体である自然との触れ合いは、机上では見えない身近な環境問題に興味、関心を引き起こす場として、高い環境意識を持った人材が巣立ち、環境学科へ進学する生徒も見られるなど成果を得ている。
熊本県	みさとまちいわのしゅうらくきょうていくみあい 美里町岩野集落協定組合		岩野用水の維持管理を目的として同組合が結成され、平成12年から現在まで活動しているが、平成18年度より、自然体系（水・土壌環境含む）の保全に関する学校教育との連携促進や、子ども達へ、水・土壌環境保全の大切さについて考える場を創設し、啓発活動をしている。
宮崎県		しおみつげいぞう 塩満啓蔵	平成9年4月～県北植物愛好会の会長として、県北の植物の調査研究に当たる。 その間、沖田川の河川改修によってハマボウの激減を知り、平成10年より環境美化活動に取り組んだ。 さらに、「沖田川のハマボウ群落を蘇らせよう」と、10年計画(2001～2010)を立て、地域住民、ボーイスカウト及びガールスカウト、市民ボランティア等を中心にハマボウの育苗、植栽、観察会を定期的に行い、ほぼハマボウ群落を回復させた。 現在は延岡市家田地域の湿原の絶滅危惧植物の保全活動を行っている。 また、水辺の環境美化を地域住民、市民ボランティアなどを巻き込んだ活動として定着させている。
宮崎県		さとうちから 佐藤力	日向市の河川環境モニターとして、日常的に河川の水質検査(濁度、CODパケット)・汚濁状況監視・水生生物等の調査を行い、水環境の保全活動に努めている。 また、河川愛護意識が高く、地域のボランティア活動へ積極的に参加し、河川環境保全活動の必要性を地域住民へ周知啓発を行い、河川環境保全のリーダーとして活動している。 市、公民館主催のクリーン作戦においては、勤務先事業所と連携して海岸清掃を行っている。
京都市	やましなほたるねっとわーく 山科ほたるネットワーク		永年にわたり、地域ぐるみで河川美化清掃等自然環境保全活動をすることで、青少年の環境意識を高めるとともに、地域の人々と青少年が連携し、山科の河川にホタルを取り戻すためのゆるやかなネットワークづくりを行っている。
北九州市	みなみがおかこうしゃかいふくしきょうぎかいほたるぶか 南丘校区社会福祉協議会ほたる部会		南丘校区社会福祉協議会ほたる部会は昭和54年に設立され、以来30年近く活動を続けている。 ほたる部会は、毎月1回小熊野川の清掃を行うとともに、ホタルを飼育するなど、ホタルの保護活動に特に力を注いでいる。 長年の活動の結果、小熊野川では一度姿を消したホタルが甦り、住宅地の中を流れる川でありながら数百匹のホタルが舞うまでになった。 また、地元の住民と協力してほたる祭りを開催しており、多くの人に自然の大切さ、河川愛護の意識を高めるのにも貢献している。
北九州市	なかたにちくまちづくりきょうぎかい 中谷地区まちづくり協議会		当該団体は増殖した竹林の伐採を行い、その跡地に広葉樹を植樹することで里山の保全を行うとともに、近隣小学校で伐採した竹(竹炭)を利用した水質浄化に関する環境教育活動を行っている等、水・土壌環境の保全に貢献している。

団体 28

個人 6

合計 34